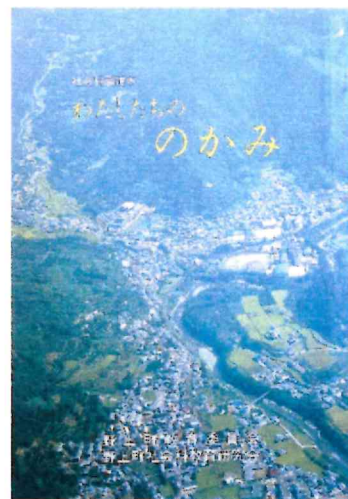


「40周年」を迎えた中央公民館！

昭和58年3月発行 野上町教育委員会・野上町社会科教育研究会編集『社会科副読本 わたしたちののかみ』の本があります。開いてみるとこんなページがありました。「中央公民館 昭和57（1982）年に中央公民館がかんせいし、町の文化をたかめるためにたいへん役立っています。この中には、大ホールや会議室、てんじ室などがあり、音楽会や作品のてんじ、いろいろな会議に使われています。また、わたしたちの図画がいつもてんじされています・・・」



この副読本は当時、野上町内の小学3・4年生にはいふられ、社会科の授業で活用されました。その後、何回かのかいていを経て、令和の時代には『わたしたちのまち紀美野町』という形で発行されていますが、現在の副読本には、残念ながら中央公民館のきじゆつはなくなっています。

中央公民館は、昭和57（1982）年9月16日、野上町役場しんちやうしゆ並びに健康センターの3施設の1つとして竣工、10月4日（月）に業務を開始しています。『社会科副読本 わたしたちののかみ』は開館半年後の発行で、新しく開館した中央公民館への期待はそうとう想像以上のものがあつたと思われます。



町内を見てみると、いち早くおがわむら小川村公民館が昭和24（1949）年に開設、次いでしがのむら志賀野村公民館が昭和29（1954）年に開設されています。昭和30（1955）年にはひがしのかみちやう東野上町とがっぱい志賀野村が合併、くわ小川村も加わり野上町となりました。野上町公民館は、昭和31（1956）年、野上小学校の旧体育館内に開設され社会教育、しょうがいぐくしやう生涯学習の拠点として多くの人々に学びの場を提供してきましたが、町役場のいてん・とちな移転に伴い、現在の地に中央公民館としてさいしゅつぱつ再出発しました。館内には40年が経った今も園児や小学生・中学生の絵画がかざらわれていますが、「町の文化をたかめるためにたいへん役立っています。」の文字は非常に重く感じられ、「公民館は実際に役立っているのか、まだまだ足りないことがあるのではないか？」と反問しながらも、あら新たな一歩をふみ出したいと考えています。

（令和4年10月1日）